

授業科目(ナンバリング)	異文化適応演習 B (AD102)			担当教員	※井上 麗奈		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は、前期に行われた「異文化適応演習 I A」を履修したことが条件とする。今まで学習した基礎知識をもとに、さらに、日本の文化、歴史、現状など様々なことを深く、詳しく学ぶことによって、日本という国の全体を詳しく理解し、留学生活が充実し、日本での生活が円滑に行うことができることを目標とする。							①②③④⑤ ⑦⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	日本での留学生活を円滑に過ごすことができる。				定期試験	10%	
情報収集、分析力	日本と母国の文化や習慣、歴史などを様々な手段を通して情報を収集し、理解、説明できる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	正しい日本語で自分の意思を表現できる。				授業態度・授業への参加度	20%	
協働・課題解決力	グループワークを通して、日常生活の中での疑問や問題を討論し、説明できる。				課題レポート	10%	
多様性理解力	日本の文化や習慣を学習し、母国との違いを理解できる。				定期試験	50%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業への出席や授業態度及び授業中の発言を評価の一部とする。また、不定期に小テストや課題、定期試験を通して、総合的に評価する。課題レポート、課題発表については、授業内で指示する。課題レポートは、提出後、添削し、翌週に返却する。再提出が必要な場合、提出日を指定し、同じく添削後に返却する。							
授業の概要							
個の授業は、教科書を使うほか、適時にプリントを配布、絵カードや映像などを用いて授業を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：トキオ・ナレッジ『日本人のしきたりいろは図鑑』宝島社 参考書：菅原正子『くらし・儀式・行事 日本人の生活文化』吉川弘文館 指定図書：桂島宣弘（2005年）『留学生のための日本事情入門』文理閣							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本での日常生活の中で、様々な疑問や質問があると思います。まず、日本語の授業、テレビや新聞などを通して、日本語をしっかりと身につけ、母国の方以外と関わる際（アルバイト先など）よく周囲を観察することで、今まで思っていた疑問や質問への解答が見つかると思います。また、様々なところへ出かけ、日本の文化、生活様式を体験してください。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	和暦と西暦	<ul style="list-style-type: none"> ・和暦と西暦について学ぶ。 ・各種手続きをする際の注意事項 	和暦と西暦について調べる。
2	交通機関の利用	交通機関を利用する際のマナーについて学ぶ。	交通機関の種類について調べる。
3	留学生の住宅事情①	マンションやアパート借りる際、保証人や手数料、敷金、礼金について学ぶ。	マンション、アパートの違いについてそれぞれ調べる。
4	留学生の住宅事情②	入居後の注意事項や日本人が引っ越し後の礼儀作法について学ぶ。	寮に住む際の注意事項についてまとめる。
5	冠婚葬祭①	結婚式やお葬式に参加する際の礼儀作法について学ぶ。	母国での結婚式やお葬式の作法を調べる
6	冠婚葬祭②	<ul style="list-style-type: none"> ・神社、お寺にお参りする際の礼儀作法について学ぶ ・グループディスカッションを通して、礼儀作法を実践する。 	母国のお寺や神社について、また、その違いについてまとめる。
7	日本の地理	日本国土の特徴、面積などについて学ぶ。	日本の地理について調べる。
8	日本の地形	日本各地の地形と自然災害の関係	日本国土について調べる。
9	長崎のいろいろ	長崎の歴史、地理、産業、文化の概要について学ぶ。	長崎の概要について事前に調べる。
10	佐世保について	佐世保の歴史、地理、産業、観光について学ぶ。	佐世保について事前に調べ、まとめる。
11	防災①	自然災害について学ぶ。	自然災害の意味を調べる。
12	防災②	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が起きた際、気を付けること、日ごろの準備と心がけ。 ・絵カードを用いてディスカッションを行う。 	防災グッズについて調べる。
13	日本の工業と産業①	日本の工業と産業の基礎理論とその現状について学ぶ。	産業と工業について調べる。
14	日本の工業と産業②	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業と工業の課題について解説する。 ・母国と日本の工業と産業の違いとその課題についてディスカッションを行う。 	母国の工業と産業の現状についてまとめる。
15	まとめ	学習したすべての内容の理解と再確認をする。	教科書やノート、配布資料の要点をまとめる。
16	定期試験		